

# 令和7年度 富田林市男女共同参画アンケート報告書【概要版】

## 調査概要

本市における今後の男女共同参画施策をより効果的に推進するため、市民の意識や動向を把握し、「第3次富田林市男女共同参画計画 ウィズプラン」の後継計画である「第4次富田林市男女共同参画計画」の策定に向けた基礎資料とすることを目的に、市民アンケート調査を実施しました。

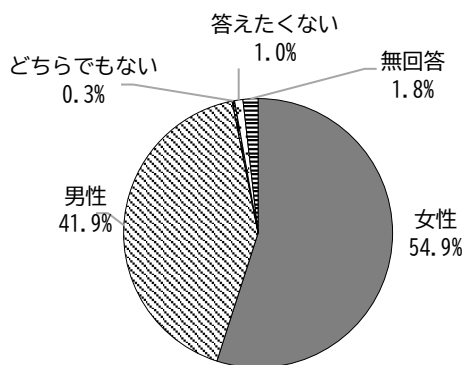
調査地域	富田林市全域
対象者	富田林市内在住の18歳以上の市民1,500人 ※令和7年8月現在 ※無作為抽出(系統抽出法)
実施期間	令和7年9月1日～9月22日
実施方法	郵送による配付、郵送またはWebによる回収
配布・回収状況	配付数 1,500件 有効回収数 384件 (有効回収率 25.6%)

※ 概要版につき、報告書記載データの一部を抜粋して記載しています。

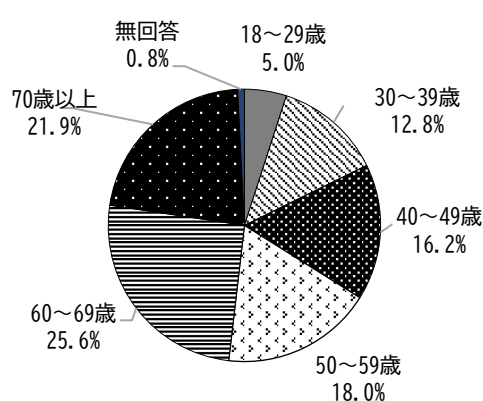
※ 調査結果は、回答者全体、男女別、年齢3区分別(18～39歳、40～59歳、60歳以上)、および就業形態別(正規職員、非正規職員)で分析しました。

## 回答者の属性

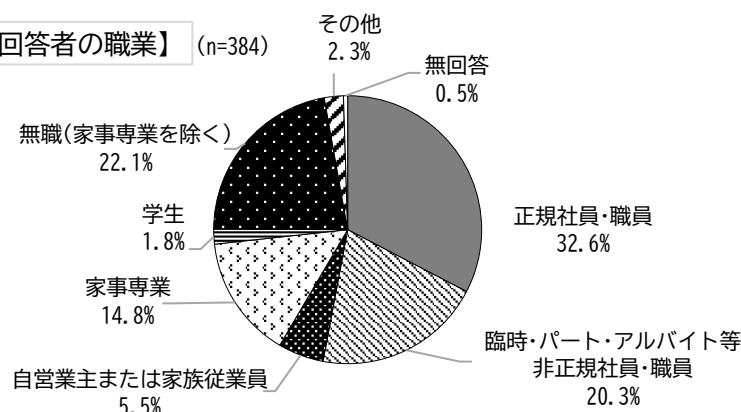
【回答者の性別】 (n=384)



【回答者の年齢】 (n=384)



【回答者の職業】 (n=384)



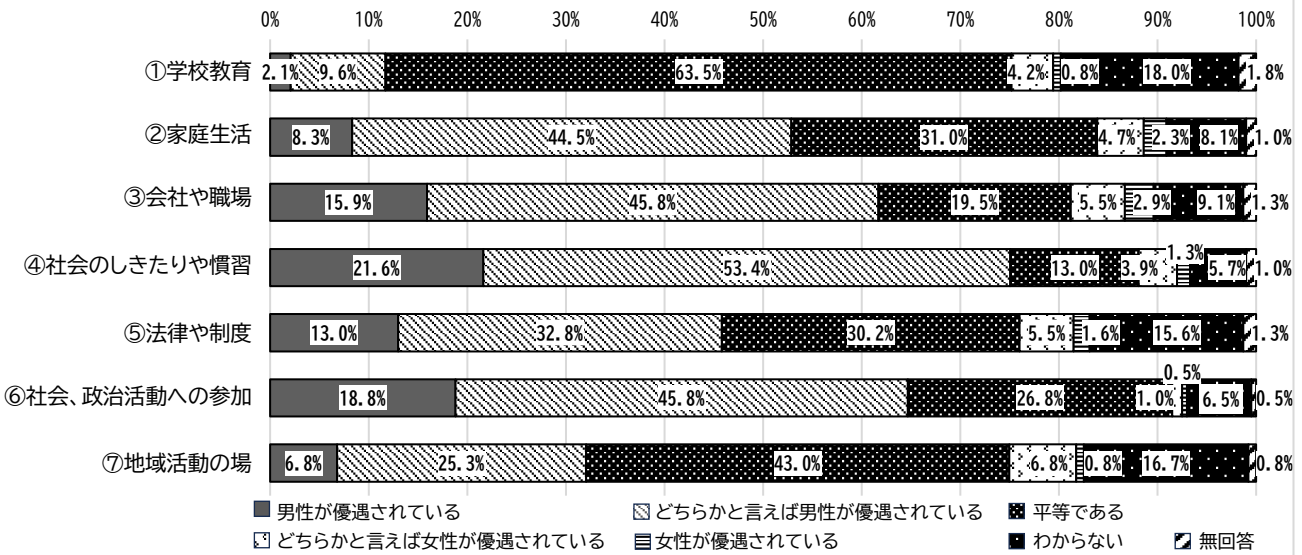
# 調査結果

## (1) ジェンダー平等について

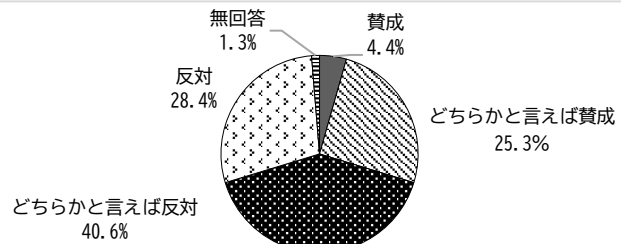
学校教育では「平等」という認識が高い一方で、家庭生活、職場、社会のしきたりや慣習、政治活動への参加など、多くの分野で「男性優遇」と感じている割合が高くなっています。

「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識については全体として反対が多数を占めます。

問1 次の各分野で、男女はどの程度平等になっていると思いますか。(それぞれ○は1つ)



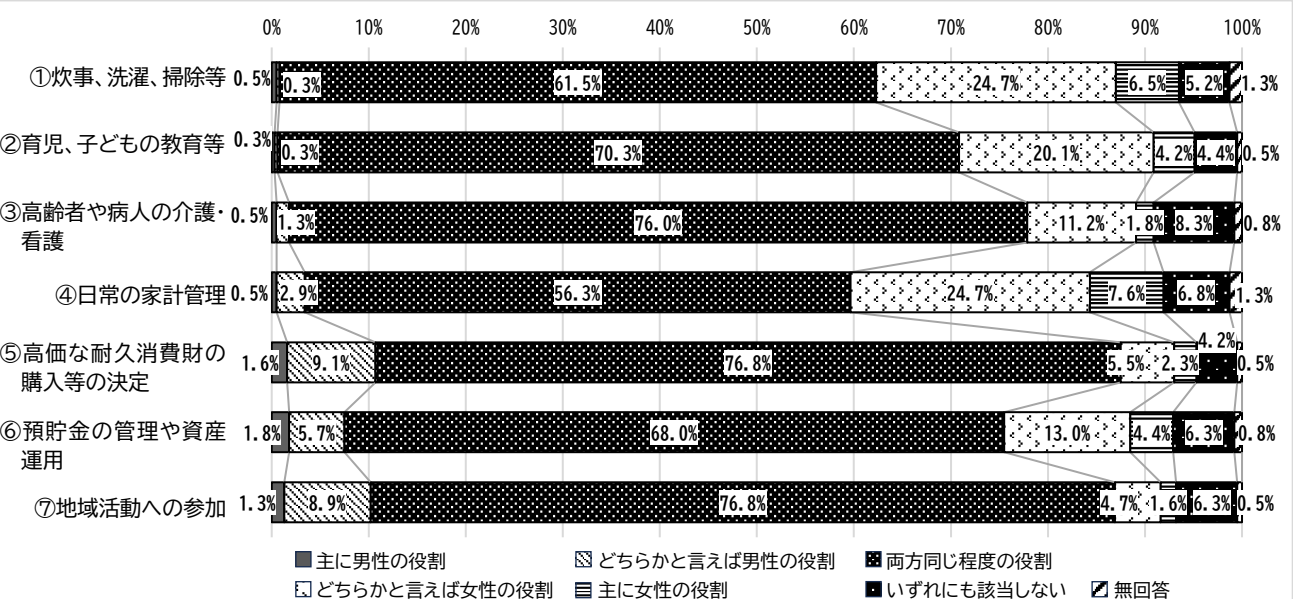
問2 男女の役割分担について、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。(○は1つ)



## (2) 家庭生活について

家事・育児・介護などの役割分担については「両方同じ程度の役割」とする考え方が多数を占めていますが、炊事、洗濯、掃除、日常の家計管理については「女性の役割」という回答が3割を超えています。

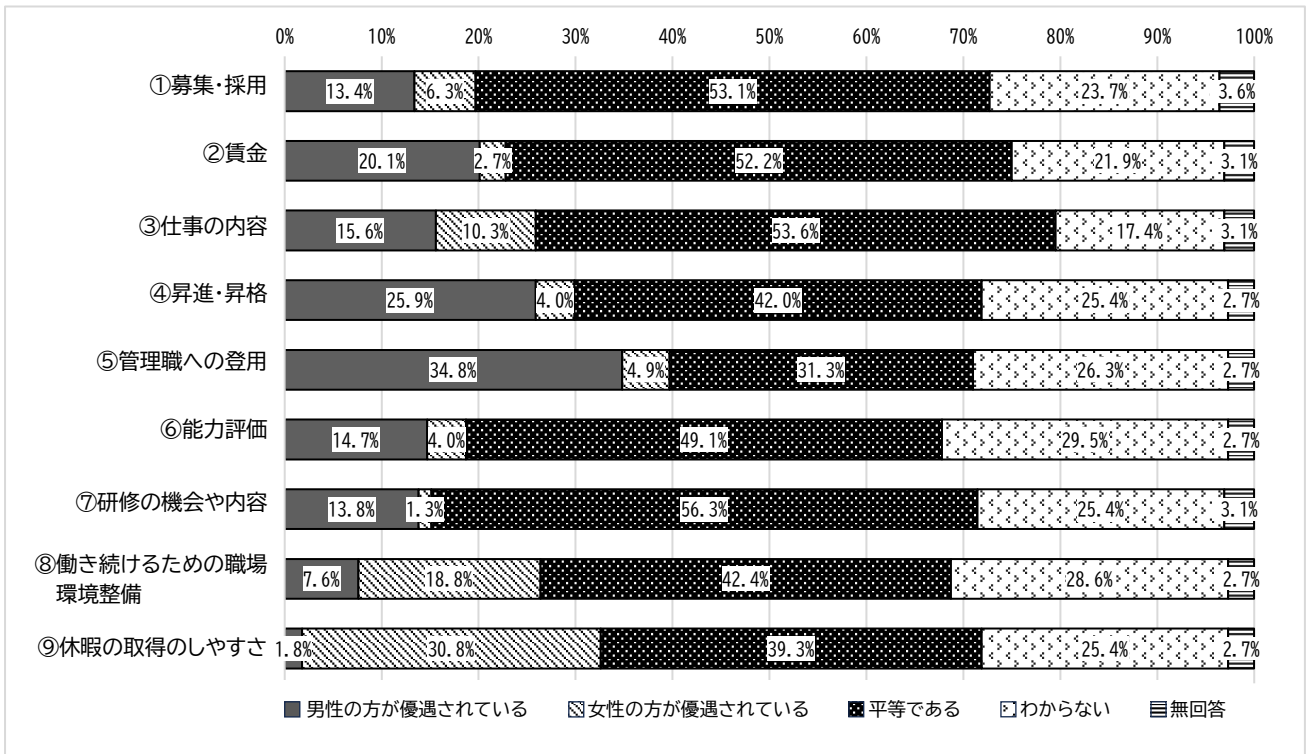
問6 次のことがらについて、主に男性、女性のどちらが担う方がよいと思いますか。(それぞれ○は1つ)



### (3) 職場について(現在仕事をしている方のみ)

募集・採用、賃金、仕事の内容などでは「平等である」との認識が約半数を占めますが、昇進・昇格や管理職への登用においては「男性が優遇されている」との認識が強く、特にキャリア形成に関わる正規職員でその傾向が顕著です。一方で、育児・介護などの休暇の取得のしやすさについては、「女性が優遇されている」という認識が男女ともに高くなっています。

問7 あなたの今の職場では、次のことについて性別によって差があると思いますか。(それぞれ〇は1つ)

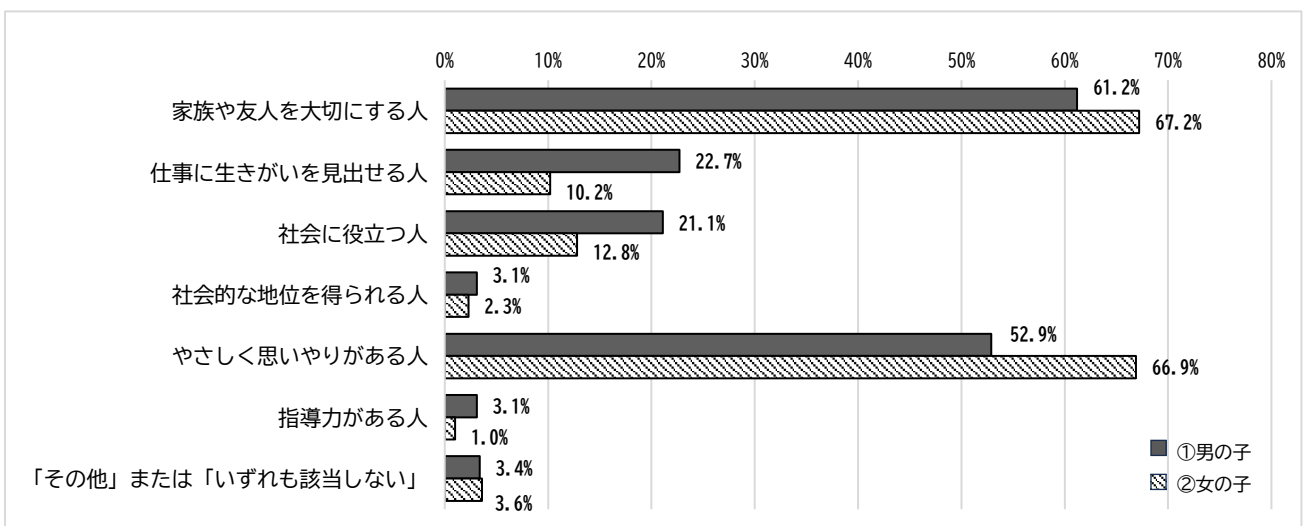


### (4) 子どもに期待する資質について

男女ともに「家族や友人を大切にできる人」「やさしく思いやりがある人」が上位に挙げられています。しかし、「仕事に生きがいを見出せる人」は男の子への期待がより高く、「やさしく思いやりがある人」は女の子への期待が高いなど、将来を担う子どもに対しても無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)が存在しています。

問8 もしも、あなたに子どもがいた場合、その子どもにはどのように育ててほしいと思いますか。

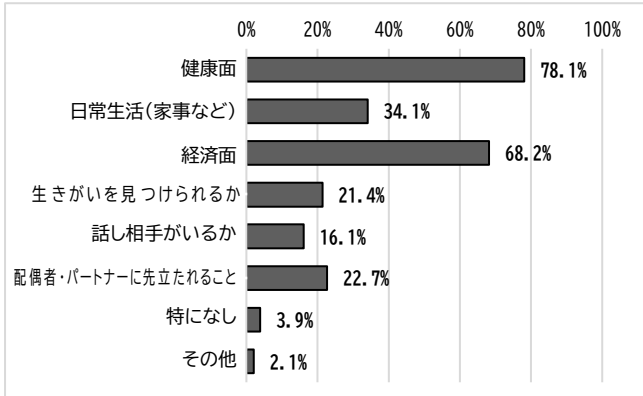
①男の子、②女の子、それぞれお答えください。(それぞれ〇は2つまで)



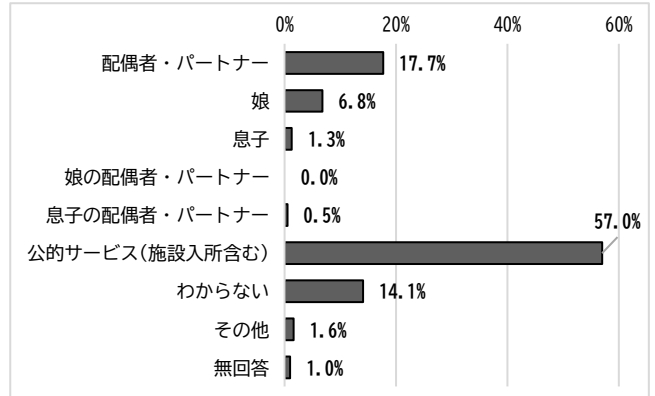
## (5) 老年期の生活について

老後の不安については、男女ともに「健康面」と「経済面」が上位を占めています。自分が介護を受けることになった場合、過半数が「公的サービス(施設入所含む)」を望んでいます。男性は女性に比べて「配偶者・パートナー」からの介護を望む割合が高くなっています。

問9 自分の老後について、不安に思うことは次のどれですか。(〇は上位3つまで)



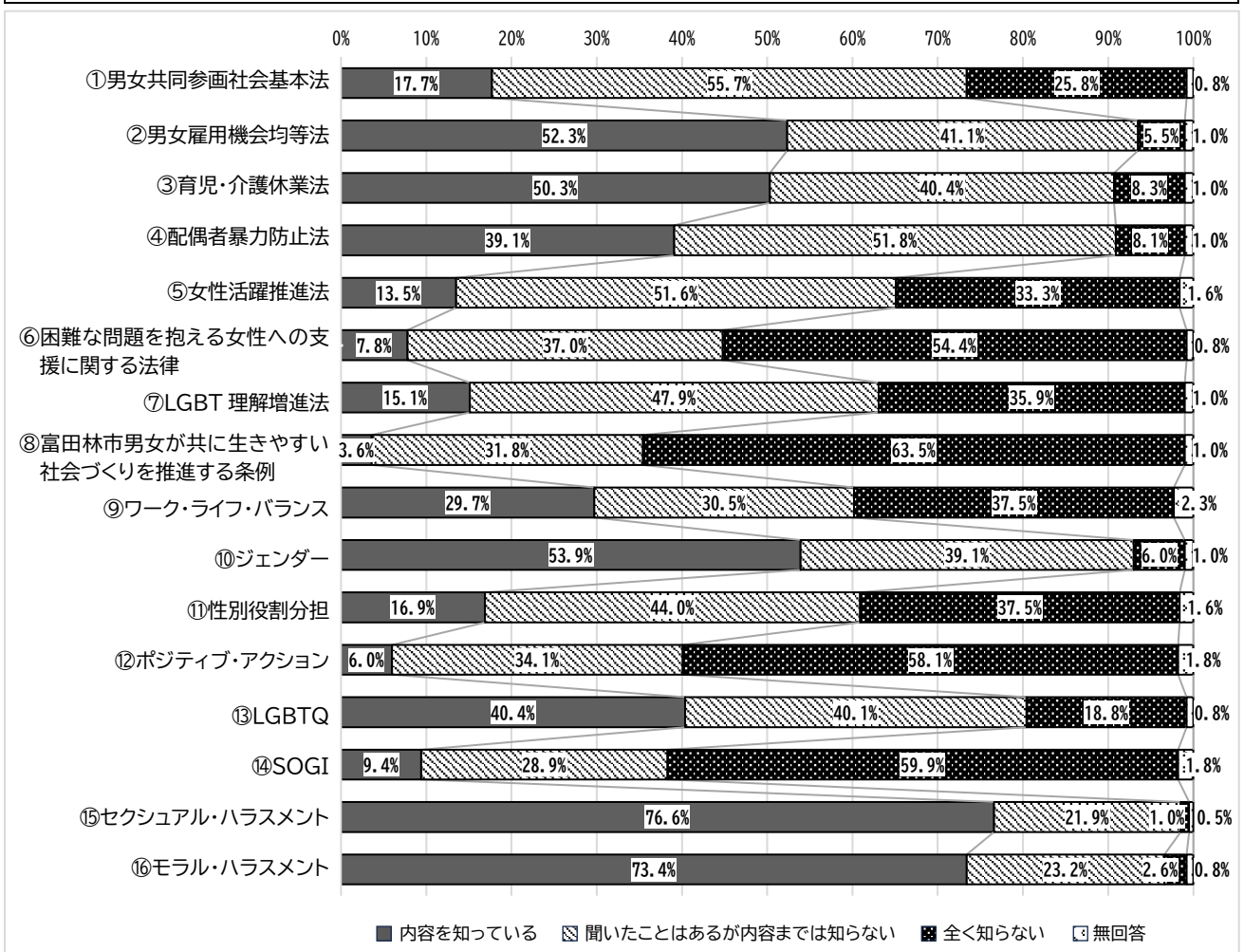
問10 もしも、あなたが介護を受けることになった場合、誰からの介護を望みますか。(〇は1つ)



## (6) 法律や言葉について

「ジェンダー」や「セクシュアル・ハラスメント」「モラル・ハラスメント」の認知度は非常に高くなっています。しかし、「男女共同参画社会基本法」や「DV 防止法」「女性活躍推進法」などは「聞いたことはあるが内容までは知らない」という回答が多く、「富田林市男女が共に生きやすい社会づくりを推進する条例」については6割以上が「全く知らない」と回答しており、法制度や市の施策の周知に課題があります。

問11 あなたは、次の項目の法律や言葉を知っていますか。(それぞれ〇は1つ)



## (7) セクシュアル・ハラスメントについて

性的な言動や身体的接触などのセクシュアル・ハラスメントについて、加害経験(したことがある)に対して、被害経験(受けたことがある)が大幅に上回っていることから、加害者側が自身の言動をハラスメントと認識しづらい実態がうかがえます。

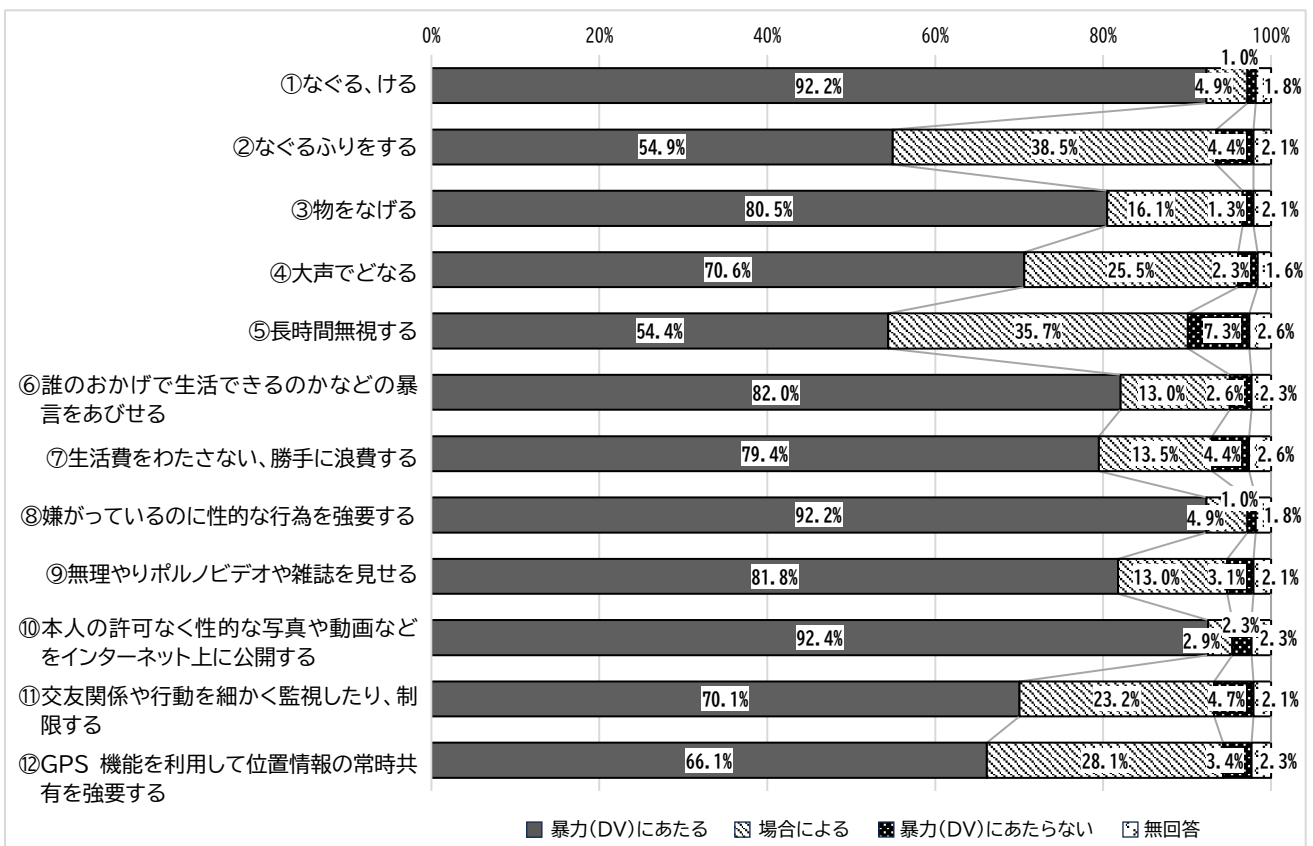
問12 次のことについて、今までしたことがある、受けたことがある、または、そのような状況を見聞きしたことがありますか(SNS 等も含む)。(あてはまるものすべてに○)

	したことがある	受けたことがある	見聞きしたことがある	すべてない
①性的なジョークや卑猥なことを言ったり、質問をしたりする	12.0%	27.6%	43.5%	29.2%
②身体のことだからかう	10.7%	22.1%	42.4%	32.6%
③さわる、抱きつくなど身体に接触する	4.2%	22.4%	30.5%	47.9%
④ヌード写真やわいせつな雑誌などを、目につくところに置く	1.0%	6.3%	22.1%	72.1%
⑤しつこくデートに誘う	1.3%	9.6%	19.3%	69.5%
⑥地位や権限を利用して性的な誘いをする	0.3%	3.9%	21.4%	74.5%
⑦本人の意思にかかわらず、早く結婚するように言う	2.9%	15.4%	30.5%	54.7%

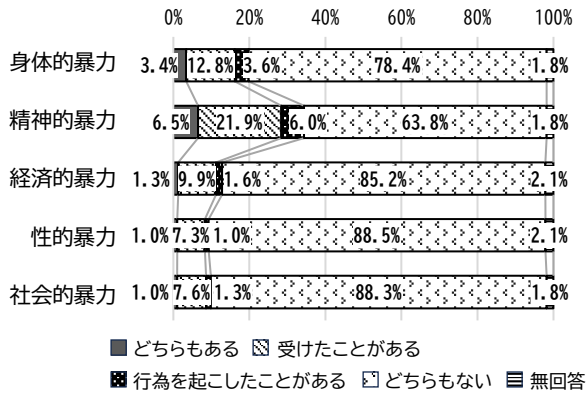
## (8) 配偶者等や交際相手からの暴力(DV)について

身体的暴力だけでなく、精神的・経済的・性的暴力などもDVにあたるという認識は広がりつつありますが、「なぐるふりをする」「長時間無視する」など一部の行為は暴力としての認識がまだ低い状況です。また、被害経験者のうち4割以上が「どこにも相談しなかった」と回答しており、「相談しても無駄」「相談するほどのことではない」と被害を矮小化し、孤立してしまう深刻な現状があります。

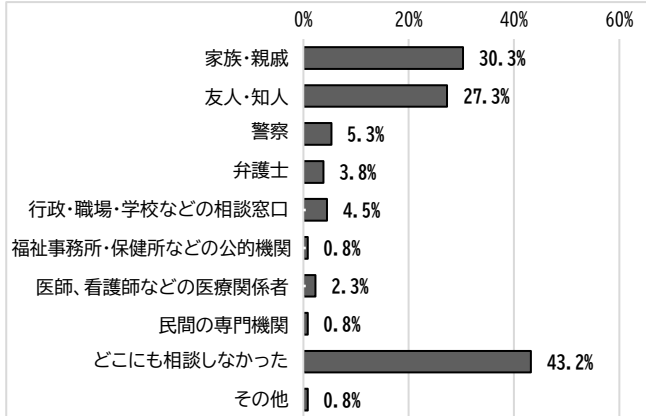
問14 次のようなことが、配偶者・パートナー(事実婚・別居中を含む)や交際相手(生活の本拠を共にする)との間で起こった場合、これを暴力(DV)だと思いませんか。(それぞれ○は1つ)



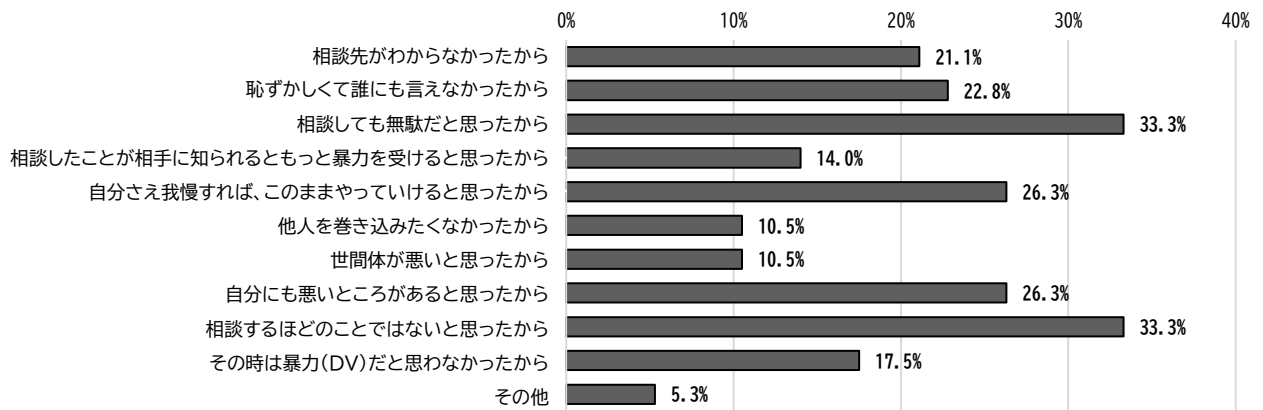
問15 あなたは、今まで暴力(DV)を受けたり、そうした行為を起こしたりしたことがありますか。また、それはどのような行為ですか。



問16 前項で「今まで暴力(DV)を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。誰かに相談したりしましたか。(あてはまるものすべてに○)



問17 前項で「どこにも相談しなかった」と答えた方にお聞きします。どうしてですか。(あてはまるものすべてに○)



### (9) 男女共同参画について

男女共同参画社会の実現に向けて今後必要とされる方策としては、「女性が働き続けられる制度と環境の整備」が最も多く、次いで「学校でのジェンダー平等教育」「仕事と家庭の両立が可能な働き方の見直し」が挙げられており、制度充実と意識改革の両輪が求められています。

問20 男女共同参画社会を実現するために、今後どのような方策がより必要だと思いますか。(○は3つまで)

